



地域の特性を生かしたまちづくり

柄沢 高男 (新風会)

質問 合併後10年、市民の一体感の醸成と地域の特徴を生かしたまちづくりを目標に取り組んできたと思うが、榛名地域や榛名山の特徴をどのように生かす努力をしてきたのか。

答弁 榛名地域の豊かな自然環境を生かし、観光交流ゾーンとして、事業に取り組んでいる。平成18年から榛名湖イルミネーションフェスタを開催し、昨年は13万2000人が来場した。また、25年度から榛名山ヒルクライム・高崎など3つのスポーツ大会を開催し、ことしは9761人がエントリーし、地域の活性化の推進や集客の向上



障害者に対する正しい認識を子どもの医療費無料化

田村 理 (日本共産党)

質問 障害者に対する正しい認識を培う学校教育の取り組みは。 **答弁** 幼稚園では遊びや生活の中で友達に優しく接することを、小・中学校では道徳の時間などに障害への理解や「ブライندوقーク」、車椅子体験学習、特別支援学級の子どもの交流教育を行っている。

質問 豊かな人間力を身につけるため、教師と生徒がゆとりを持って向き合う必要があると考えるが、30人以下学級の実現に対する見解は。 **答弁** 本市の学級編制基準は、県の基準で行い、教員の配当もこれに基づいている。今後も現状の学級編制基準で配当される教員を有効活用し、教育効果を最大限高めていきたい。



だるま市を街中で 農業委員会法の改正

田角 悦恭 (新風会)

質問 中心市街地活性化や街中の回遊性を前面に出し、街中でだるま市を開催できないか。 **答弁** 長年行われてきた少林山だるま市は、だるま販売の形態変更により従来の形での開催が困難な状況である。だるま市の街中開催は中心市街地の活性化にもつながるため、達磨製造協同組合や商店街などと協議し開催に向け検討したい。

質問 ことども発達支援センターの主要事業の平成27年度実績と指導員1人当たりの相談件数は。 **答弁** 保育所、幼稚園の巡回相談は160回で1421人、小学校1年生訪問は58回で719人、「にこにこるーむ」は83回で610人、個別来所相談は2843人だった。指導員1人当たりの相談は、心理士及び教職員が187件、作業療法士180件、言語聴覚士143件である。



子育て環境の充実

根岸 赴夫 (新風会)

質問 幼稚園等の教諭は、資格継続のため研修を受けなければならないが、有給休暇を使い、自費で更新している厳しい状況がある。費用を補助できないか。 **答弁** 教員免許には10年の有効期間があり、幼・小・中・高等学校全ての教員は更新講習を受講する必要がある。夏季休業中の講習がほとんどで、授業等に影響しない形であるが、受講料は自己負担となっている。

質問 市職員の育児短時間勤務制度の概要とその実績は。 **答弁** 就学前の子どもの養育時に1日2時間を限度に部分休業が取得できる制度で、男女問わず、また、夫婦同時に利用できる。平成27年度は男性1人、女性66人の職員が取得している。



園児に読み聞かせをする幼稚園教諭



上野三碑「世界の記憶」登録

白石 隆夫 (新風会)

質問 「世界記憶遺産」が「世界の記憶」と言い換えられたが、上野三碑の登録に関し変わったことは。 **答弁** 平成28年6月に文部科学省は記憶遺産の名称を直訳に近い「世界の記憶」に変更した。価値付けに変化はなく、これまでどおり登録推進活動を行う。

質問 多くの市民に上野三碑を知ってもらいたい。周知活動の状況は。また、市民の理解度は。 **答弁** 市は、ロゴマークの公募、PR動画の公開、小・中学生向け教材の配付、高崎駅構内へのレプリカの展示を行い、登録推進協議会は、シンポジウムの開催、ポスターの配付



榛名湖のイルミネーションフェスタ



通級指導教室の運営状況

清水 明夫 (新風会)

質問 通級指導教室に通う生徒数が増加する中、教員配置や備品の充実はどうなっているか。 **答弁** 教員は県からの配当により配置しており、県に教員の増員を要望している。また、特に備品の充実が図れるよう予算を重点化しているところである。

質問 タゴスタジオオタカサキミュージックフェスティバル2016について、近隣住民への対応や熱中症対策を含めた総括は。 **答弁** 来場者が2万5000人あり、熱中症対策として来場者に水分補給の呼びかけ、塩分補給のための塩あめや氷水で冷や



子育て支援策の現状

木暮 孝夫 (公明党)

質問 国の方針である子育て世代包括支援センターを核とする妊娠から子育て期まで切れ目のない支援整備について、本市への伝達内容は。 **答弁** 子育て世代包括支援センターの法定化は、平成29年4月に施行され、市は母子保健に関して実情の把握を行うセンターを32年度末までに設置するよう努めるとされている。事業内容は、妊娠の届け出や健診等を通

質問 国の方針である子育て世代包括支援センターを核とする妊娠から子育て期まで切れ目のない支援整備について、本市への伝達内容は。 **答弁** 本市の買い物支援事業の1つである高齢者等買い物代行事業は、高齢者の代わりに事前にマッチングしたボランティアが買い物をする。現在の登録者数は129人、ボランティアは207人である。地域のボランティアの偏りなどの課題もあり、今後も円滑に推進できるように研究したい。



大規模太陽光発電 商店街路灯のLED化

追川 徳信 (新風会)

質問 美濃川コンクリークラブ跡地の倉洲発電所工事の進捗状況と完成時期は。また、大雨に対する排水関係の安全対策は。 **答弁** 現在、パネルの設置面積約9・9ヘクタールが終了、年内に設置工事が完了する。サッカーグラウンドなど地域貢献施設は来年3月までに完成予定である。また、造成地内の排水路整備や土砂流出を防ぐ工事が進められ、しゅんせつ工事等が必要があれば事業者へ指示している。

質問 本市の営農型太陽光発電の件数と農作物の状況は。 **答弁** 現在までで35件、総発電量1万487キロワットである。